

心に残る文化財子ども塾 奥出雲町立布勢小学校

1. 活動の概要

6月12日(金)、奥出雲町立布勢小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。古墳や埴輪について学習し、体験活動に「はにわ作り」と「火おこし体験」を実施しました。はじめに古墳や埴輪についてについて島根県埋蔵文化財調査センターの職員が視覚資料などを使用して解説をしました。島根県の遺跡の状況や古墳の大きさ埴輪の解説などとともに、布勢小学校区内の古墳の紹介、常楽寺古墳の埴輪について、話をしました。付近の尾原ダムで調査した原田古墳の須恵器を教室内に展示しました。

個別配布の埴輪作成手順をもとに、今回使用する素材粘土の特性や工具の解説をして、今回は焼かないで乾燥させる粘土を使用することを知らせた上で、見本の埴輪を参考に、児童の皆さんにそれぞれの埴輪のモチーフ、形を決めてもらい、制作に取りかかりました。制作中は、制作段階ごとに、個別に指導、助言して、極端に工程の遅れないように配慮しました。設定した時間内に制作と片付けが終わり、成形した埴輪を乾燥場に陳列しました。

火おこし体験は、当日の天気が小雨ということで湿度が高く着火は困難な条件でした。火種を作り、もぐさに移して着火し、麻の繊維など燃えやすい材料にとって発火燃焼させるところまでを目標に取りかかります。杵を回転させて臼で受けて摩擦し、黒い粉状の物が出るものの火種になるのが難しく煙が出るところ終わるという感じでした。2～3人の仲間で杵を回転させる人を励まし、応援し、手伝って、一度、二度と成功する組が続出しました。杵の先端が摩擦ですり減り平坦になるため、随時カッターで削りながら使うという状態でした。

2. 活動の様子

1)古墳や埴輪について知ろう



布勢小学校周辺の遺跡、古墳、埴輪についてスライドで説明

2)古代体験活動～火おこし体験～



火起こしの見本を行う

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- ・布勢や奥出雲、島根県にたくさんの遺跡があることを知った。
- ・埴輪は人物だけでなく、動物や建物など色々な種類がある事が判った。
- ・火おこしは、結構難しくて昔の人の大変さがわかり、火がついた時はうれしかった。

2)担任の先生から…

- 座学で、地域の古墳をはじめとする遺跡のようすがわかり、古代のこの地の人々の暮らしに思いをはせることができた。
- 火おこし体験は、子供たちが日常的に火に触れる機会が少なく、貴重な体験となった。

3)埋文センターから

形象埴輪の人物に個性が表れ、それぞれの抱く埴輪が表れていました。教職員の皆さんの熱心な指導で極端に工程の遅れる人がいなかったことはよかったですと思います。

火おこしは、気象条件が悪い中で体験後半になり火がついて、児童の皆さんが応援しあいながら頑張り、教職員(校長先生)の熱心な指導で、発火まで成功する組が出ました。充実した体験活動になったと思います。